

# 地創研フォーラム

地域の課題をみんなで考え、よくしてゆくには？  
～日常生活圏で話し合う場づくりから～

**日時** 平成27年6月6日(土) 13:30～16:45

**場所** 奈良市ボランティア・インフォメーション・センター

〒630-8122 奈良市三条本町13番1号

はぐくみセンター1階

(奈良市保健所・教育総合センター)

TEL.0742-93-8435 / FAX.0742-34-2336

**主催** NPO 法人地域創造政策研究センター

**後援予定** 奈良県・奈良市・生駒市・中間支援NPO連絡会議

**参加費** 資料代 500円 (定員60人)

**申込先** 地域創造政策研究センター事務局：塩崎敏邦

TEL & FAX 0743-75-0092 携帯：090-2705-1492

Eメール：[c-souzou@outlook.jp](mailto:c-souzou@outlook.jp) (裏面の下段参加申し込み票を活用ください)



## プログラム

開会・挨拶 13.30～

基調講演：「持続可能な地域社会をめざした各地の取組みから」 13.35～14.35

(相川康子 NPO 法人 NPO 政策研究所専務理事)

事例発表：「朝来市の取組みから」 (馬袋真紀朝来市職員) 14.35～15.20

休憩 15.20～15.30

パネル・ディスカッション 15.30～16.45

馬袋真紀 (朝来市総合政策課副主幹)

清水泰之 (生駒市やまびこネットワーク代表)

安田智子 (宇陀市菟田野地区まちづくり協議会)

吉岡正志 (奈良市大宮地区自治連合会長)

吉村耕治 (元吉野町地域おこし協力隊)

コーディネータ：相川康子

いま、地域社会は疲弊し、非正規雇用が広がり若い人が結婚もままならないうえに、たとえ結婚できたとしても子育て、老後介護など課題が広がり、満足な生活を送れなくなっています。それらを支える地域の活力も衰弱しています。自治会・町内会、社会福祉協議会、各種団体、ボランティア団体、NPOなど地域には多様な主体が存在していますが、まだばらばらの活動で地域をよくしてゆくには至っていません。

改めて地域の活力を取り戻すため、各地の小学校区単位などで地域自治協議会やまちづくり協議会などの名称で緩やかな組織を立ち上げて活動する動きが始まっています。この奈良の地も同じで、地域での自治協議会づくりが始まっています。でも、みんなが余裕もない中で何からどう始めたらよいか悩んでいます。今回、各地で条件が違いながら自治協議会づくりに先駆的に取り組んでいる方々をお招きして、その苦勞を学び合う機会を得たいと思います。

## 講師及びパネリストの紹介

相川康子：	宇治市出身、兵庫県の地方紙「神戸新聞社」で約20年、市民活動や地方自治、災害・復興に関する記事や社説を手掛け、2007年秋に退職。神戸大学准教授を経て、現職（民間非営利のシンクタンク）。防災士。
馬袋真紀：	朝来市出身、朝来市総合政策課副主幹。地域自治の仕組みづくりや自治基本条例の策定などに関わり、現在は地域協働のまちづくり、シティプロモーションなどを担当している。
清水泰之：	生駒市壱分小学校区で「あいさつ通り」を始められ、2012年には市民自治協議会の「モデル地区」として「やまびこネットワーク」を立ち上げ、地域で安全・安心が実感できるまちづくりをめざしている。
安田智子：	宇陀市出身。南都銀行職員を経て、地域の活性化に取り組み、昨春から菟田野まちづくり協議会の一員として活躍している。
吉岡正志：	奈良市出身。市自治連合会相談役、大宮地区自治連合会長。現役時代から自治会活動を始め地域再生に努力、また昨今は「地域とともにある学校づくり」にも取り組んでいる。
吉村耕治：	大阪市出身、大学の恩師から話を聞き、協力隊となる。現在、地元の地域づくりと電気工事業を行う「クラフトワーク」代表。秋からは帝塚山大でNPOの「組織経営論」を担当。地域プランナー&コーディネータ。

☆☆☆☆☆☆☆☆ ❁ フォーラムに参加申し込みします(切り取り不要) ❁ ☆☆☆☆☆☆☆

申し込み先： (申し込みは5月25日まで。ただし、定員に達した場合はその時点まで。)

地域創造政策研究センター事務局(塩崎)： FAX 0743-75-0092 Eメール c-souzou@outlook.jp

氏 名		
連絡先	電話：	FAX
Eメール		